

相模湾産トウカムリガイ科の貝類

池 田 等

Seashells of the Family Cassidae Collected from Sagami Bay

Hitoshi IKEDA

はじめに

学術的に貴重なオキナエビスやシロウリガイなどの産地として名高い相模湾には、多種多様の貝類が分布していることは言うまでもなく、天皇陛下の御採集品をまとめた相模湾産貝類（黒田ほか，1971）ではほぼ明らかにされている。

筆者は1964年から相模湾で貝類の調査を続け、将来、相模湾産貝類目録を作成しようと手がけている。それらは莫大な数に及び、一度に公表することは不可能なため、今後、まとまったグループを少しずつ報告することにし、今回はトウカムリガイ科の貝類についてお知らせする。

本文をまとめるに当たり、投稿の機会を与えていただき御指導下さった神奈川県立博物館専門学芸員中村一恵氏、横須賀市博物館学芸員林公義氏、ならびに調査に御協力をいただいた相模貝類同好会々員の河辺訓受氏、間瀬欣弥氏、渡辺政美氏および横須賀市長井町漁業組合の方々、貴重な標本を拝見させていただいた伊藤宏氏に深く感謝申し上げる。

調査海域と方法

調査海域は江ノ島から城ヶ島に至る三浦半島西側沿岸の相模湾と、城ヶ島から釧崎を経て金田に至る沿岸海域とした。（図一1）

調査方法として、トウカムリガイ科の貝類は大部分が浅海の砂地にすむため、漁業者の行なう底刺網に掛かる資料を中心に収集した。特に、クルマエビやヒラメを目的とする底刺網は砂、砂泥地に任掛けるので重点的に調査した。（イセエビの底刺網は岩礁に任掛けるため対象としなかった。また地図上の地名は底刺網の行なわれている漁港である。）その他に手操網やエ

ビ籠（アカザエビが目的で、水深200—400mに任掛ける。）による調査も行ない、ドレッジや打ち上げ採集も行なった。

結果と考察

トウカムリガイ科の貝類は南方系の種類が多く、世界でおよそ60種、日本近海で29種が知られ、三重県では20種（松本，1979）駿河湾では5種（波部ほか，1986）が報告されている。



図1 調査海域

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 江ノ島（藤沢市） | 2. 小 坪（逗子市） |
| 3. 葉 山（三浦郡） | 4. 久留和（横須賀市） |
| 5. 秋 谷（横須賀市） | 6. 芦 名（横須賀市） |
| 7. 佐 島（横須賀市） | 8. 長 井（横須賀市） |
| 9. 長 浜（横須賀市） | 10. 三 戸（三浦市） |
| 11. 三 崎（三浦市） | 12. 城ヶ島（三浦市） |
| 13. 釧 崎（三浦市） | 14. 金 田（三浦市） |

筆者の調査では相模湾新記録のナンバンカブトウラシマ(図-2)とワダチウラシマ(図-3)を含む17種が記録され、相湾産貝類で紹介されている6種はすべて確認された。また、横須賀市博物館に所蔵されている故細谷角次郎氏の収集品には15種あり、それらのうち、カブトウラシマ、ヒナヅルは筆者が未記録の種である。従って、相模湾には19種の分布が明らかにされた。この数は三重県における記録数に劣らぬもので、相模湾の貝類の豊富さがうかがわれる。

今回の調査でウネウラシマは江ノ島、葉山、秋谷の沖合水深60~100m付近に他の海域より多く見られ、ウラシマガイは葉山、久留和、秋谷の沖合および金田沖の水深10~30mに多産することがわかった。また、同種か別種か疑問の残されているウラシマガイとタマウラシマ、ウネウスとマメシボリウラシマ、カズラガイとナガカズラガイは生息する底質に多少差があるらしいことをここでは指摘しておく。コダイコガイには2型が記録され(ひとつは別種の可能性がある)、未同定のレンジャク的一种もあり、これらについてはいずれの機会に報告する。

目録について

採集方法の略号

KN……クルマエビ底刺網; HN……ヒラメ底刺網; LP……エビ簀; T……手操網; D……ドレッジ; B……打ち上げ
相模湾における個体数の略号
Ⓡ……稀産; Ⓢ……少産; Ⓒ……普通; Ⓐ……多産

トウカムリガイ科 CASSIDAE

1. コエボシ *Morum macandrewi* (SOWERBY)
長井沖、城ヶ島沖、劔崎沖(50~120m, 砂底, 砂礫底) KN, HG, D, Ⓢ
2. カブトウラシマ *Echinophoria kurodai* ABBOTT
三戸沖(細谷) 横須賀市博物館所蔵貝類資料(YCM. ZH-1069) Ⓡ
3. ナンバンカブトウラシマ *E. wyvillei* WATSON
長井沖(亀域礁南西)(200~300m, 砂泥底) HN, Ⓡ(図2: 1-2)
4. カンコ *Phalium glaucum* (LINNAEUS)
久留和沖、芦名沖(細谷)(20~40m, 砂底) KN, Ⓢ
5. タイコガイ *P. bandatum* (PERRY)
久留和沖、秋谷沖、長井沖、三崎沖(20~40m,

砂底) KN, Ⓢ

6. コダイコガイ *P. areolum* (LINNAEUS)
秋谷沖(細谷)、三戸沖、城ヶ島沖(20~30m, 砂底) KN, Ⓡ
7. カズラガイ *P. variegatum* (PERRY)
江ノ島沖、三崎沖(10~20m, 細砂底, 砂泥底) KN, Ⓢ
8. ナガカズラガイ *P. flammiferum* (RÖDING)
葉山沖、久留和沖、秋谷沖、長井沖、三戸沖、金田沖(10~30m, 砂底) KN, Ⓒ
9. ウラシマガイ *Semicassis persimilis* KIRA
江ノ島沖、小坪沖、葉山沖、久留和沖、秋谷沖、芦名沖、長井沖、三戸沖、三崎沖、金田(10~80m, 砂底, 砂泥底) KN, HN, T, D, Ⓐ
10. タマウラシマ *S. pila* (REEVE)
葉山沖、久留和沖、秋谷沖、金田沖(20~50m, 細砂底) KN, Ⓢ
11. ワダチウラシマ *S. bisulcatum* (SCHUBERT et WAGNER)(図2: 3-4)
久留和沖、長井沖(30~50m, 細砂底) KN, Ⓡ
12. ウスウラシマ *S. bulla* HABE
長井沖(80~100m, 砂底) HN, Ⓢ
13. ウネウラシマ *S. japonica* (REEVE)
江ノ島沖、小坪沖、葉山沖、久留和沖、秋谷沖、長井沖、三戸沖、城ヶ島沖、金田沖(50~200m, 砂泥底) KN, HN, LP, T, Ⓐ
14. マメシボリウラシマ *S. minor* (KÜSTER)
小坪沖、葉山沖、秋谷沖、長井沖、金田沖(30~80m, 細砂底, 砂泥底) KN, HN, Ⓒ
15. ヒメタイコガイ *S. inornata* (PILSBLY)
久留和沖、長井沖、城ヶ島沖(70~250m, 細砂底, 砂泥底) KN, HN, LP, Ⓢ
16. レンジャク *Casmaria ponderosa nipponensis* ABBOTT
佐島沖、長井沖、長浜、金田沖(10~30m, 砂底) KN, B, Ⓢ
17. アメガイ *C. ponderosa ponderosa* (GMELIN)
長浜、三戸沖(10~20m, 砂底) KN, B, Ⓡ
18. ヒナヅル *C. erinaceus* (LINNAEUS)
相模湾(細谷) 横須賀市博物館所蔵貝類資料(YCM. ZM 1089) Ⓡ
19. レンジャクの一種 *Casmaria* sp.
金田沖(河辺)(20~30m, 砂底) KN, Ⓡ

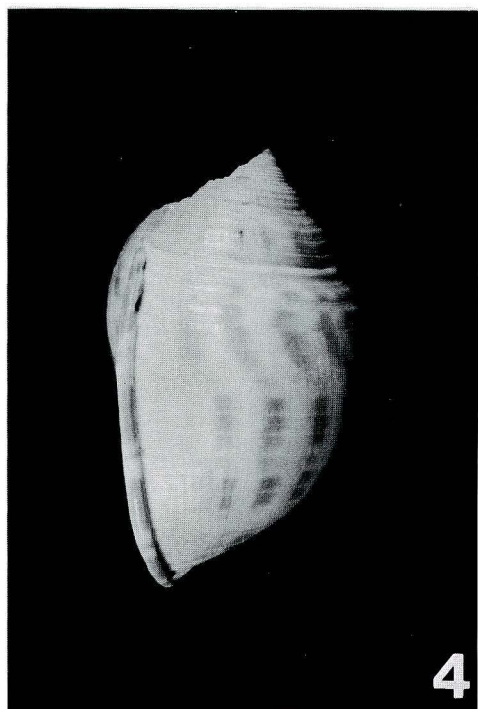
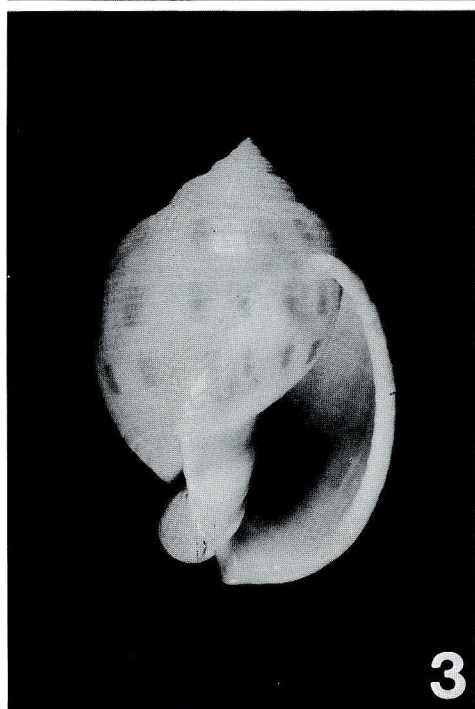
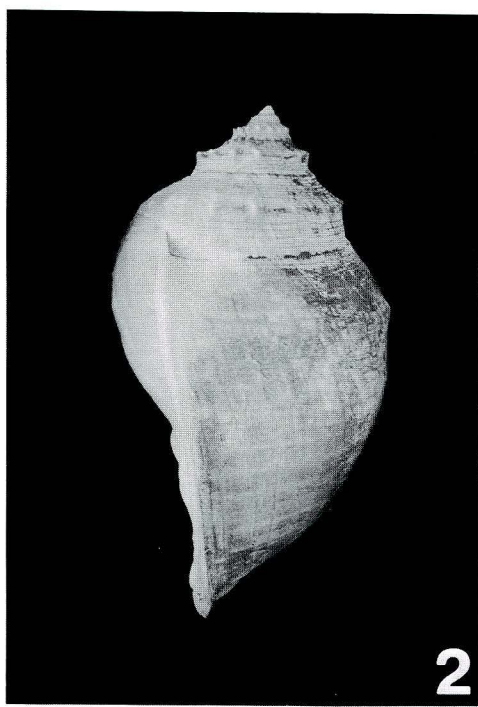
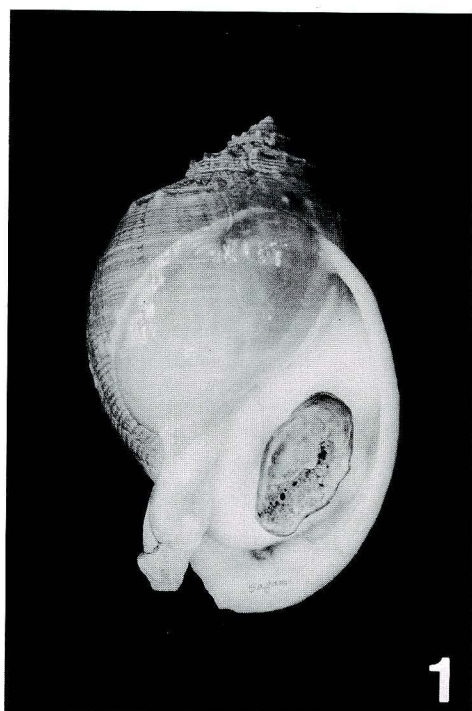


図2: 1-2 ナンバンカブトウラシマ *Echinophoria wyvillei*
 相模湾産, 1987年4月採集, 殻高114mm 殻径75mm
 3-4 ワダチウラシマ *Semicassis bisulcatum*
 相模湾産, 1969年6月採集, 殻高47mm 殻径33mm

文 献

- ABBOTT R. T. and P. DANCE, 1982. *Compendium of Seashells*. E. P. Dutton, Inc., New York.
- 波部忠重, 1965. 続原色日本貝類図鑑. 保育社, 大阪
- 波部忠重・小菅貞男, 1967. 標準原色図鑑全集 (3) 貝. 保育社, 大阪.
- 波部忠重・久保田正・川上 東・増田 修, 1986. 駿河湾産有殻軟体動物目録. 東海大学自然史博物館研究報告, (2): 13.
- 堀越増興・野村洋太郎・斎藤 孝・小菅貞男, 1963. 細谷角次郎蒐集貝類特輯号. 横須賀市博物館研究報告 (自然科学), (9): 46-47.
- 細谷角次郎, 1954. 相模産貝類図絵. (騰写印刷)
- KAICHER S. D., 1983. *Cassidae & Oocrythidae*. Card Catalogue of World-wide Shells, (36).
- 神奈川県立博物館, 1972. 貝類標本総合目録, 神奈川県立博物館自然部門資料目録 No. 3.
- 吉良哲明, 1959. 原色日本貝類図鑑. 保育社, 大阪.
- 黒田徳米・波部忠重・大山 桂, 1971. 相模湾産貝類. 丸善書店, 東京.
- 松本幸雄, 1979. 三重の貝類 (三重県産貝類目録). 鳥羽水族館.
- (葉山しおさい博物館)